

SDGsに関わる取り組みを紹介します。

ししまみなみしょう 敷島南小

4年生で、給食を教材に「食品ロス」について知り、食品ロスを減らすために自分ができることを考えました。

日本での1年間の食品ロスは…

600万トン

食品ロスはSDGsの



に関係しています。



クラスでの残りが少しでも、全校分が集まると…



敷島南小の25mプール

1万5千ばい分

食品ロスは給食だけでなく、スーパーやコンビニ、レストラン、家庭でも発生しています。場面ごとにできる工夫を話し合いました。



<学習感想より>

- 食品ロスの問題を知って、地球が豊かになるように、ひとつでも自分ができることを考えて給食を食べようと思った。
- 給食センターでも地産地消をして、食品ロスを減らす努力をしていることがわかった。
- 話を聞いたり、動画を見たりして自分にもまだできることはあるかなと思った。友達の発表を聞いて、「一人一人が意識すれば」というキーワードを大切にしたいと思った。

給食からの食品ロスを減らすために (話し合いで考えられた工夫)

- ・きれいな食べ物を減らす。
- ・盛り付ける量を調整する。
- ・おかわりのルールを考える。
- ・給食の準備を早くして、食べる時間を長くする。

食品ロスについては、デジタル学習教材「食育の時間+(プラス)」で楽しく学べます。みんなて食品ロスを減らして「持続可能な社会」にしていきたいと思います。

りゅうおうひかししょう 竜王東小

5年生で、環境問題に取り組み、「食品ロス」や「給食室のゴミ問題」についてパワーポイントで学習しました。

春休みに食品ロスに関わる本を読んでみましょう。

東小での1年間の生ゴミの量は (果物の皮・野菜くず・給食の残飯)

1300kg (令和3年度)

そのゴミはどこへ行くのかな?

- 野菜くずや給食の残飯は? リサイクルへ
- その他のゴミは? 分別して処理されます
- ◎燃えるゴミ…ビニールやカップなどの容器
- ◎ダンボール
- ◎缶・びん・金物類

そのうち給食の残飯は1年間に

670kg (令和3年度)

ひとり当たりになると1年間には

生ゴミ…4.8kg

給食残飯…2.5kg

(牛乳を含めると3.8kg)

を出していることになります。

<学習感想より>

- 食品ロスが少なくなるように、できるだけ給食は残さないようにしようと思いました。
- 残った生ゴミをバイオマスにして利用していることがわかりました。
- 給食室からの生ゴミが、東小だけで1300kgも出るなんて驚きました。

講談社 真珠まりこ



宝島社 菅谷秀光



いろは出版 市川太一



みんなの給食

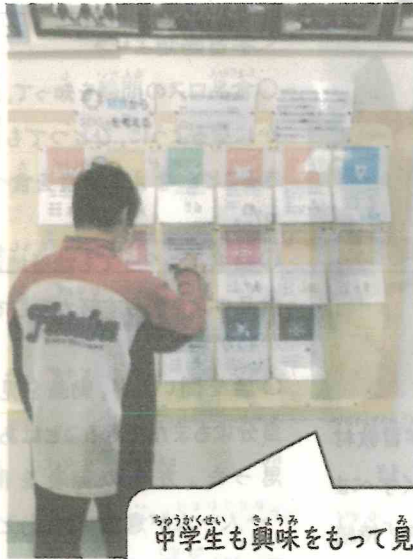
～給食からSDGsを考える～



令和5年3月 甲斐市教育委員会・甲斐市栄養士会 第2号

昨年11月に「給食からSDGsを考える」の第1号のおたよりを配り、市内16校すべてで資料を掲示するなど、SDGsに関する活動を行ってきました。そのほかにも各学校でさまざまな取り組みが行われましたので、その中からいくつかご紹介します。

SDGsは、私たち全員に関わる大切な問題です。世界中の人々が協力して、持続可能な社会をつくるために決められた目標です。これからも学校給食と関わらせてさまざまな情報をお届けしたいと考えています。



市内16校すべての学校に同じ掲示資料を貼りました。



中学生も興味をもって見てくれ、SDGsについての関心が高まりました。



小学生にもわかりやすいクイズ形式の掲示資料です。



姉妹都市の給食



- ・麻婆豆腐丼
- ・牛乳
- ・春雨サラダ
- ・わかめスープ
- ・アセロラゼリー

地産地消の給食



- ・牛ねぎ丼
- ・(甲州ワインビーフ)
- ・甲斐市産ねぎ
- ・牛乳
- ・かき玉汁
- ・八幡いもサラダ
- ・りんご